

名句のパロディ その16 (残暑)

- 閑かさや岩にしみ入る蝉の声 (芭蕉)  
～ 騒がしやうるさいだけのコマーシャル
- やがて死ぬ気色は見えず蝉の声 (芭蕉)  
～ やがて死ぬその時までは生きている
- 大それた花火の音も祭りかな (一茶)  
～ 大それた花火大会草も焼く
- 朝顔や一輪深き淵の色 (蕪村)  
～ 朝顔も熱中症かすぐ萎む
- いざさらば暑さを忘れ盆踊り (良寛)  
～ 情けなや踊る体力ありません